

Campus News

[キャンパスニュース]

2019. **2**
Vol.53

【特集】

- 静岡理科大学の災害に対する予防策、対応について
- 学内ネットワーク環境の整備について
- 片岡由菜さん(物質生命科学科3年)が全国ビブリオバトル2018～大阪決戦～に出場



■ キャンパス内で「流しそうめん」を楽しむ物質生命科学科の学生たち

本学キャンパス内に、後援会の支援により、バーベキューなどを行うことができる憩いの場を設けています。この施設を利用して、各学科やサークル、留学生達が教職員も参加してバーベキューや流しそうめんを行い、潤いのある学生生活を送っています。

はじまりを、つくる



静岡理科大学





学長挨拶

大学入試改革を見通して、
課外活動などで人間力を育むこと

学長 野口 博

社会で生き抜くための基礎力として、文部科学省は、学力の3要素として、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って学ぶ態度」を提案しています。2020年度に向けて、この「学力の3要素」を軸に、高校・大学・入学者選抜を改めることとなりました。

新制度による大学入試は、次の3つの主な変更点があります。「1) 大学入学共通テストの導入。2) 個別入試も、「学力の3要素」をバランス良く測る区分変更。3) 大学入試での英語で、読み、書き、聞く、話すの4つの技能評価。」となり、思考力や判断力が問われることとなります。

このような、今後の大学入試改革で重視される学力の中でも、思考力・判断力や主体性などは、いわゆる人間力ですが、本学では、既に入学後の学生が、日頃の授業でも専門力に加えて、人間力を育成するカリキュラムづくりを鋭意進めてきております。

実は、この人間力は、理工系大学の学生の課外活動、社会的活動でも身に付いて行きます。

本学の学生は、理工系の課外活動の三大大会ともいえるNHKロボットコンテスト、袋井市のエコパスタジアムでの全日本学生フォーミュラー大会、琵琶湖での鳥人間コンテストに出場しています。また、硬式テニス部、弓道部の活躍など、運動系のサークル活動の成果にも顕著に表れてきています。本学のサークルでは、運動系14と文化系17の多彩な活動があります。

また、「静岡理科大学お理工塾」では、学生自らが「お理工塾応援隊」として小学生への理科実験・体験講座を企画・運営し、理科実験の楽しさを知ってもらう取り組みです。更に、女子学生の学生生活活性化グループの「Rikejo Café」では、リケジョの魅力発信や、女性ユーザーとしての工業製品へのアイデアづくり等、理工系女子の仲間を増やす活動を積極的に行っています。

このように、サークル活動を通して、理工学と情報学を横断する異分野の学生のチームとしてのグループ活動での発想、企画、デザイン、制作、実践は、社会で企業人として活躍するためには、何事にも代えがたい人間力の育成に最適な教育プログラムです。

本学は、今後の大学入試改革を見通して、人間力を磨く学生の挑戦を大切に、最大限の支援をしていきたいと思えます。

遠州灘

2018年の夏は暑かった！そして冬は11、12月というのに20度近い気温で半袖ですごせたりもした。そうかと思うと北海道では-30度近い尋常ではない世界が現実のものとなっている。地球の環境が確実に変化しているのを肌で感じながら、我々は何をそこに投影するのだろうか。

今年度から着任し、毎朝エコパの脇を車で通勤するとき、遠州ののびやかな大地と大きく広がる空に癒されている。この風景の中でしか出来ない事を追求する先に、地球全体にまで通じる、原理原則を見出すことができるに違いないと信じて活動していきたい。それこそが、もうすでに使い古された言葉かもしれないが「グローバル」な視点の創出なのだろうが、そろそろ別の言い方が必要かとも感じる今日この頃である。(T)

遠州灘

授業の紹介

■ 感性認知心理学

最新の心理学的な研究成果を知るためには、学术论文を読まなければなりません。本講義では、各回1名が発表担当者となり、事前に作成したレジュメを用いながら、心理学に関する論文の紹介を行います。他の受講生は、自身のPCでレジュメや論文を参照しながら、議論に参加します。教員は、他の受講生と同様に議論に参加したり、必要に応じて専門的知識の補足を行ったりします。講義では毎回、学生同士で活発な議論が行われており、時には教員が口をはさむ余地がないほど白熱することもあります。

学术论文を読むことは容易ではありませんが、心理学に関する専門的知識や、統計的分析手法、実験パラダイムの種類、リサーチ・クエスチョンや実験計画の立て方等を学ぶうえで、非常に優れた機会となります。また、パラグラフ・リーディングを意識しながら論文を読んだりレジュメを作成したりすることで、自身がいずれ卒業論文を執筆する際にも役に立つ技術を会得することができます。

担当教員：情報デザイン学科 講師 紀ノ定保礼



非平衡界面化学研究室(物質生命科学科)

難しそうな名前の研究室ですが、「環境化学」を中心にした研究を行っています。具体的な研究テーマとしては、「自分で勝手に走り回って環境汚染物質を回収する油滴」、「超音波が生み出す数千度の泡による環境汚染物質の分解」、「雨粒・雲粒の採取分析による大気汚染物質の動態解析」などがあります。

研究室メンバーは毎年元気いっぱい、「考えられる人材になる」をコンセプトに毎週、個々の研究についての積極的なディスカッションを全員で行っています。研究だけでなく、毎月の呑み会や、体育館を借りてのバスケットボールにも力を抜かない、高いアクティビティを備えた研究室です。



おじゃまします。

研究室訪問

第41回

研究室学生からひとこと

小野田皇太朗 (理工学研究科 材料科学専攻1年)

「ワインの涙」を引き起こす非平衡物理現象として知られるマランゴニ効果は液体同士の界面において界面張力の勾配が存在することで発生する自発的な対流現象です。このマランゴニ対流に関する研究は数多くありますが、その詳細については未解明です。現在、懸滴系の液液界面において周期的な自発対流現象が起こる支配要因の解明を化学的なアプローチから行っています。毎週セミナーでは研究報告や質疑応答を行い、他のメンバーや自分のテーマの理解が深まります。

研究室担当教員

南齋 勉先生

■プロフィール

大阪府出身。大阪府立大学大学院工学研究科修了、博士(工学)。神奈川大学工学部助教を経て、2016年に本学理工学部物質生命科学科に着任。界面化学、超音波化学、大気化学の研究に従事。

静岡理工科大学の災害に対する 予防策、対応について

平成30年10月に大型台風が接近し、本学の位置する静岡県も大きな災害を受けました。

本学もこの台風の影響により、講義を2日間休講することとなりました。

災害は予期せず訪れることを再認識し、本学の災害対策、対応についてご紹介します。

1 地震防災ガイドブックを 発行しています

本学では、地震防災ガイドブックを作成、発行し、災害時の対応方法や備えについて、学生の皆さんに啓蒙を行っています。また、自然災害や交通機関の運行休止等の場合の措置については、本学学生便覧に記載しています。



自然災害や交通機関の運行休止等の場合の休講措置	
地震情報の発令 (静岡県中・西部地域に大震法に基づく「東海地震注意情報」「東海地震予知情報(緊急宣言)」が発令)	終日休講 講義中の場合は講義を中止、それ以降の講義は休講
暴風警報の発令 午前 7時の時点で静岡県中部・西部のいずれかに暴風警報が発令されている場合 1・2時限休講 午前 11時の時点で静岡県中部・西部のいずれかに暴風警報が発令されている場合 3・4・5時限休講 静岡県下で発令されている気象情報気象予報ホームページ http://www.jma.go.jp/	
【交通機関(東海道本線など)等において大規模な障害が発生した場合は、必要に応じて休講・抽講の措置を講ずる場合がある。本件に関する措置を講じた場合は、SIST学生ポータルサイトや学内掲示板等にて連絡する。】	
上記以外の事由で臨時休講とする場合には、SIST学生ポータルサイトや学内掲示板等にて連絡する。 https://campus.sist.ac.jp/aa_web/ (SIST学生ポータルサイト)	

▲学生便覧(SIST Student Life Guide)から引用

2 安否情報システムを 運用しています

本学では、発生が予測される東海大地震や台風・豪雨などの災害が発生した場合に備え、「安否情報システムANPIC(アンピック)」を運用しています。災害時には、携帯電話やパソコンを使用して、在学生の安否確認を行います。



3 防災備蓄品を蓄えています

災害時、本学学生が容易に自宅へ帰宅できないことが想定されます。そのため、本学には本学学生および教職員が困らないよう、食料、飲料水、簡易トイレなどの防災備蓄品を蓄えています。



総合防災訓練時に、防災備蓄品配布訓練を実施しています▶

4 本多先生 コラム

本学には、災害心理学を専門とする、情報学部情報デザイン学科の本多明生准教授がいます。本多准教授に「心理学からみた防災：防災意識が高い人の性格」について伺いました。

心理学からみた防災：防災意識が高い人の性格

本多 明生

近年、我が国では様々な災害が発生しています。災害の直後は、防災意識が高まりますが、ご存知のように、それを維持するのは困難です。ところが、防災意識が希薄化していく状況においても、万が一のことを考えてリスクに備える「防災意識が高い人」は存在します。

私は「災害心理学」を専門にしています。本誌は、幅広い読者を対象としていると伺いました。良い機会ですので、防災意識が高い人に関する話題を提供します。

次の質問に答えてみてください。

あなたは、自分自身の行動の結果を自己に求める人ですか。それとも、他人のせいになしたり、運や状況など自分以外に求める人ですか。どちらかを選んでください。

これは、一見、防災意識とは関係がなさそうな質問ですが、ここから、あなたが災害に強い人かどうかわかります。米国の心理学者ロッターは「統制の所在（ローカス・オブ・コントロール）」という概念を示しました。彼は、自分自身の行動の結果を自己に求める人を内的統制者、運や状況、他者に求める人を外的統制者に分類しました。この考えをベースにした研究では、地域住民の統制の所在によって被災の程度が異なっていたことが報告されています。米国で起きた竜巻でイリノイ州の死者がアラバマ州の5分の1だった背景を調べた研究です（Sims & Baumann, 1972）。この研究では、二つの州における外的要因の効果（例えば竜巻の規模や強さ、竜巻発生時刻、住宅の建築タイプ、警報システムの質など）には大きな違いが示されなかったことから、心理学的見地から詳細な調査を行った結果、イリノイ州の住民は自らの行動に高い責任意識をもつ内的統制者が多かったこと、それによって二つの州の災害の結果が異なっていたことが示唆されました。その後の研究からは、内的統制者は外的統制者と比べて、防災意識にとどまらず、防犯意識や健康意識も高いことが示されています。つまり、内的統制者は、日常生活を取り巻く様々なリスクに備える傾向があります。

話をまとめます。「統制の所在」研究に基づけば、自分の行動は自分でコントロールする、という内的統制の考え方・信念をもっている人は、防災意識が高いことがわかっています。「自分の身は自分で守る」という言葉を聞いたことがあるかもしれませんが、内的統制者は、その考え方・信念から、危機管理が自然とできる人だといえるでしょう。さらに、内的統制者は、災害に限らず、人生を取り巻く様々なリスクについても対処しようとするようです。

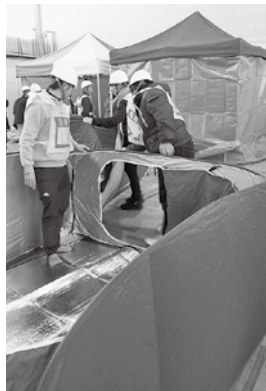
さて、あなたは自分を内的統制者だと思えますか、それとも外的統制者だと思えますか？

本多准教授は、全国の教育施設を対象に、「各施設の防災対策に関する質問紙調査研究」などを実施しています。その調査研究から、我が国の教育施設における防災対策の実態と今後の充実に向けた課題を明らかにし、国際学校心理学会で研究成果を発表しています。

5 ヨクスル コラム

本学には、「ヨクスル」という学生団体があります。活動は、その名の通り静岡理工科大学を学生の方で、「良くする」ことを目的としています。活動の中で、大学とその周辺の防災意識の向上を目指して、学内外で取り組んでいます。

私たちヨクスルは、災害発生時に私たち学生が、①どのような行動を取るべきか、②学生としてできることはないか、③事前に準備、備えは問題ないかを周知、啓蒙することを目的に、ヨクスル内に防災チームを組織し、活動を行っています。



▲袋井市が実施する避難所運営訓練に参加

主な活動は、学生自身ができる防災対策のレクチャー、本学に備えている防災備蓄食品を本学学生に試食体験してもらうイベント補助や他校と連携事業の実施です。

他校との連携は、静岡文化芸術大学の学生サークル「さいのこ」との交流や東海アक्स看護専門学校との生徒さんと共同で、「災害時の避難所運営計画」を立案しました。この活動を実施する中、いつ災害発生の予測は不可能ですが、被災時に、私たち学生ができること、事前に必要な備えを学ぶことができました。今後は、災害時に、本学学生が地域で活躍できるよう、知り得た知識を本学学生へ周知し、仲間を増やしたいと思っています。



▲他大学と交流し、学生の立場で災害時にできることを共に考えています

ヨクスル防災班リーダー 物質生命科学科 3年 渥美大志

Message for S.I.S.T. [大学へのメッセージ]

高校生部活動の救世主 掛川東高校 立石 紀子さん



静岡理科大学には、本校の部活動で何度もお世話になりました。高校生の部活動は、機材などの環境面から、できることは限られます。でも、研究しようとして資料を集めたとき、この分析機材があれば、研究をあきらめなくて済むということも多々あります。そんな時に静岡理科大学さんに相談したところ、快く、高校生の分析のための助力をいただくことができました。

特に、物質生命科学科の齋藤明広先生にはいつもお世話になっています。齋藤先生のご指導は、高校生にもわかる機器の原理に加え、データを取る際の慎重さと、データを集め切る情熱の大切さなど、自分たちで調べただけではわからなかった部分にも及びました。

大学の学生実験室で、ガスクロや吸光度計の使い方に慣れ、丸1日かけて取り組んできた分析は、高校生が将来の道の一つとして研究者を目指す大きな指針となると思います。

ラグビーの持つ縁 ヤマハ発動機株式会社 ラグビー部広報 長谷川 仁さん



私と静岡理科大学の出会いには2017年春、原田市長に野口学長、そしてラグビーの清宮前監督による講演会で、大学のお隣、エコパスタジアムにてラグビー日本代表がアイルランド代表との国際試合が行われる直前での開催でした。

それをきっかけに大学との繋がりが生まれ、秋の学園祭に家族で参加しました。子供たちは「紙飛行機づくり」や「スライムづくり」に熱中する中、私が引き寄せられたのはゲーム研究会の学生たちによる「ラグビーのヴァーチャルリアリティ」。特殊なメガネを掛けると、目の前にラグビーのスタジアムが広がり、楕円のボールを蹴る疑似体験を楽しみました。

その精度の高さを多くの人に知ってもらいたいと思い、研究会の学生たちに相談。昨年12月のヤマハスタジアムでの公式戦にて、試合前イベントとして出展していただくことが実現しました。当日は多くの来場者に仮想空間でのラグビー体験を楽しんでもらえました。

ラグビーの持つ縁で、地元の大学との繋がりが深まりました。皆様に感謝しています。



▲左端が長田さん(マレーシアにあるキナバル山にて)

活躍する卒業生

株式会社アート環境設計 長田 翠さん

理工学部情報システム学科(現:情報学部情報デザイン学科)
第17期卒業生

静岡理科大学には、学科の垣根を越えて様々な分野を学ぶことができると思い進学しました。卒業研究では、コンピュータだけではなく、動物行動と脳のシステムの関係を研究したいと思い、奥村研究室(神経行動学)を選びました。研究はどうしてその現象が起きるか注意深く観察し、どうしたら実験課題を解決できるか考え、取り組みました。この経験から、自ら考え、問題を解決する力が身についたと思います。

現在は、大規模開発に伴う自然環境への影響を評価し環境に配慮した開発方法を提案する、環境調査業務を行っています。この業務では、自然環境に対する幅広い知識と、どうしたら自然と人が共生できるか考え、提案する力が求められます。大学で培った、問題を解決する力は自然環境の特性を把握し、現場の自然環境にあった課題解決に役立っていると思います。

業務を通じて、人が及ぼす些細な影響が、自然環境にとっては大きな被害になってしまうことを日々痛感しています。人と自然の共存を目指して、人にも自然にも優しい開発提案ができることが目標です。

平成30年度 学部長表彰

優れた活躍や学生の模範となる顕著な成績を上げた学生を表彰する「学部長表彰」を行いました。受賞者は次の通りです。

学部長
表彰
(個人)

システム工学専攻1年 **大場 春佳**さん
文部科学省主催 第7回サイエンスインカレ出場

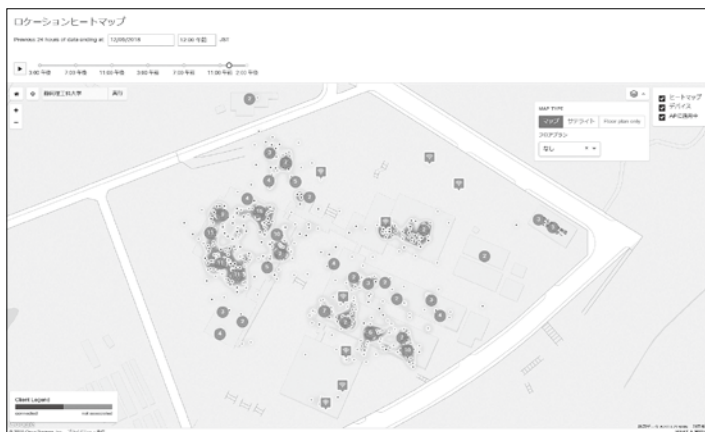


特集記事

学内ネットワーク環境の整備について

平成30年9月26日より、学内ネットワークの環境を大きく整備(情報基盤整備)しました。従前は、無線LAN(Wi-Fi)に関する環境が十分ではなく繋がりにくい場所や教室があり、また、多くの人が集まる場所においては、繋がっても通信速度が遅い場面もありました。

今回の整備においては、①グローバルアドレスからプライベートアドレスへの変更。②教職員と学生が混在していた通信回線を分離し、個々の用途においてセキュリティを向上。③無線LAN



▲この画面でWi-Fi利用状況を管理しています

人事異動

— 平成30年9月1日付採用 —



理工学部機械工学科 教授

佐藤 彰

専門分野 無人ヘリコプタ工学、制御工学、運動解析

略歴 京都大学大学院工学研究科博士課程単位取得退学。ヤマハ発動機を経て、本学教授に就任。

趣味 読書、ギター、ゴルフ



理工学部電気電子工学科 講師

東城 友都

専門分野 電気電子材料工学、エネルギー変換工学、計算科学

略歴 信州大学大学院総合工学系研究科博士後期課程修了。豊橋技術科学大学大学院工学研究科電気・電子情報工学系助教を経て、本学講師に就任。

趣味 マラソン、ドライブ、映画鑑賞

— 平成31年1月1日付採用 —



理工学部建築学科 講師

鍋島 佑基

専門分野 建築設備工学、建築環境工学

略歴 北海道大学工学院工学研究科博士後期課程修了。豊橋技術科学大学建築・都市システム学系助教を経て、本学講師に就任。

趣味 バイク、寺社仏閣巡り、ギター、ベース

(Wi-Fi)の各教室、及び人が集まる場所への新設置、増設を行いました。特に、学生の皆さんに関係するところとしては、③の無線LAN(Wi-Fi)の強化が大きいと考えています。学習環境の整備として、教育棟各教室において、無線LAN(Wi-Fi)が十分な接続が保てるだけの機器が設置され、そして、授業環境を良好に保つために、授業以外で人が集まる場所(学食・学生ホール・クラブハウス棟)とは、回線を分離しました。これにより、教室での通信の劣化を防ぎ、授業環境の改善にも繋がっています。

また、それ以外にも、スマートフォンでの無線LAN(Wi-Fi)への接続も可能となり、学内で使っているofficeメールの送受信も可能となり、大学からの案内もスマートフォンで簡単に見ることが出来るようになりました。

国際交流バスツアー

7月14日(土)、国際交流センター主催の国際交流バスツアーを実施しました。留学生と日本人学生の交流の場を設けるとともに静岡の自然を楽しむことを目的とし、伊豆半島を巡りました。当日は15名の留学生、3名の日本人学生、教員2名の20名が参加し、伊東市に位置する大室山、伊豆シャボテンパーク、城ヶ崎海岸を観光しながら、交流を深めました。



鳥人間コンテスト

7月28日(土)、29日(日)の二日間にわたり、滋賀県琵琶湖湖畔にて「第41回鳥人間コンテスト2018」が開催され、本学からはサークル「Sky Traveler」が出場しました。前日から天候が不安定な状況の中、Sky Travelerは三番目に滑空しました。残念ながら記録は残りませんでしたが、自分たちで機体を制作し、大会に出場できたことは、学生たちにとってよい経験となりました。



市民体験入学

8月25日(土)、本学にて市民体験入学を開催し、当日は170名の皆様にご参加いただきました。基調講演では、元中京大学教授の湯浅景元氏を招き、「スポーツ科学入門～トップアスリートに学ぶ上達のコツと健康法～」をテーマにご講演いただきました。午後は、座学2講座、体験6講座の8つの講座に分かれ、本学教員が講師を務めました。ご参加いただいた皆様からは、「大変有意義な時間を過ごせた」「学生時代に戻れたようでいい刺激だった」といった感想をいただきました。



学生フォーミュラ

9月4日(火)から9月8日(土)にかけて、小笠山総合運動公園(エコパ)で「第16回全日本学生フォーミュラ大会」が開催され、自動車部が出場しました。ICV(ガソリン自動車)部門とEV(電気自動車)部門の両部門に出場し、ICV部門は92チーム中24位で、日本自動車工業会会長賞と最軽量化賞3位を受賞しました。両部門ともに改善を図ることで更なる順位アップを狙いたいとのことで、来年度への期待を胸に大会を終えました。



SIST体験型講座

10月6日(土)、本学にてSIST体験型講座を開催し、当日は14名の皆様にご参加いただきました。「低価格コンピュータを用いて、タイムラプス動画(コマ撮り動画)を作成しよう」をテーマに、コンピュータシステム学科の高野敏明講師の解説のもと、参加者たちは定点カメラを使用してコマ撮り動画を作成しました。参加者からは「低価格コンピュータの可能性を感じた」「子供にとってよい教育の機会となった」といった感想をいただきました。



地域学

10月9日(火)、本学にて「地域学」の表彰式を行いました。「地域学」は袋井市と本学の包括連携協定に基づき、学生たちが袋井市のまちづくりについて考える講義で、今年度は「次世代のふくろいガイドブック」を発表したBグループが市長賞を、「テクノロジーを活かした観光」を発表したCグループが学長褒賞を受賞しました。表彰前には両グループの発表が披露され、袋井市長からもお褒めの言葉をいただきました。



さくらサイエンスプラン

11月2日(金)から11月8日(木)にかけて、日本・アジア青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプラン」において、南通理工学院の学生10名と教員1名が来学しました。滞在中、参加された方々は、本学研究・教育施設の見学、本学学生とのPBL活動などを行いました。PBL活動では、「IoT」をテーマに本学の日本人学生や留学生とグループを組み、学生達は英語でコミュニケーションを取り合いながら、マイコンを使った製作やプログラミングを行いました。英語でプレゼンテーション発表を行い、海外の学生たちと国際交流ができ、本学学生にとっても貴重な体験となりました。



公開講座

11月3日(土)、本学にて「第2回公開講座」を開催し、当日は104名の皆様にご参加いただきました。「自動運転の現状・未来と運転支援」をテーマに、情報デザイン学科の紀ノ定保礼講師と、名古屋大学 未来社会創造機構産学協同研究部門 平岡敏洋特任教授がそれぞれ講演を行いました。ご参加いただいた方からは「心理学的アプローチからの自動運転は新鮮だった」「運転は車のシステムを過信しないことが大切だと感じた」といった感想をいただきました。



地域創成フォーラム

11月27日(火)、浜松市内にて、平成30年度地域創成フォーラムを開催し、当日は167名の皆様にご参加いただきました。特別講演として、アイサンテクノロジー市内(株)取締役MMS事業本部長の佐藤直人氏に「一般道における自動走行実証実験の取り組み」と題して講演をいただきました。また、本学教員や静岡県の試験研究所の技官による研究事例発表や、パネルによる研究紹介も行いました。地域企業の皆様にも多数ご参加いただき、産学連携による地域活性化について考える貴重な時間となりました。



定国研究室+3C × ヤマハ発動機ジュビロ

12月1日(土)、コンピュータシステム学科の定国研究室とサークルのComputer Communication Circleがヤマハスタジアムにて、VRコンテンツとARコンテンツを出展しました。VRコンテンツは、ラグビーのゴールキック体験ができる「蹴りっぱなし」というコンテンツです。ARコンテンツは、これまで袋井市役所などで展示した「ラガーマー」の改良した版で、定国研究室の3年生が中心となって制作しました。多くの方に本コンテンツを体験していただき、好評を得ることができました。



入試広報NEWS

■進学ブランド力調査2018でランクイン

リクルート進学総研が行った高校生に聞いた大学ブランドランキング「進学ブランド力調査2018」において、イメージ項目のひとつ「入試方法が自分に合っている」で本学が東海地区10位(男子)にランクインしました。

本学では、「受験生にとって志願しやすい」入試を心掛け、受験生目線に立ち「選択できる」、「負担が軽減される」ことをポイントに毎年のように新しい入試方法を検討し導入していることが評価されたものと思われます。

一例を挙げると、複数学科・複数回の出願でも追加検定料が必要ない「大学入試センター試験利用入試」、センター試験の得意科目を一般入試にプラスして受験できる「センタープラス入試」など11月から3月まで毎月様々な選考種別の入試を行い、受験生が自分の実力や特色を発揮しやすい環境を整えています。今後の大学入試改革を控え、本学で「理学・工学・情報学の学習・研究に励みたい」という希望を持った受験生のために、引き続き、より良い入試方法を提供しその期待に応えていきます。

*進学ブランド力調査について

この調査は、リクルートカレッジマネジメントが、高校生の大学選びの動向を明らかにするため、年に1回、高校3年生を対象に行っている。大学に対する志願度、知名度、イメージなど50項目を調査。

今回の調査は、2019年3月卒業予定の高校3年生に2018年の4月に実施し、関東エリア、東海エリア、関西エリアの高校生74,000名を対象に行い、7,981名から有効回答を得ている。

また、東海エリアの調査対象大学は、東海エリア所在の79大学に関東・関西エリア所在の入学定員1,000人以上の130校を加えた大学。

■入試方法が自分に合っている

男子は静岡大学、女子は名古屋市立大学が1位だが、いずれもスコアは10%未満と低い。

順位	全体	区分 (%)	順位	男子	区分 (%)	順位	女子	区分 (%)
1(54)	静岡大学	国 6.4	1(85)	静岡大学	国 8.4	1(2)	名古屋市立大学	公 6.6
2(2)	名古屋市立大学	公 4.8	2(5)	名城大学	私 8.3	2(10)	岡山女子大学	私 5.6
3(7)	名城大学	私 4.7	3(64)	名古屋大学	国 7.3	3(62)	早稲田大学	私 5.4
4(19)	中京大学	私 4.6	4(85)	東海学園大学	私 6.9	4(6)	愛知淑徳大学	私 4.8
4(84)	東海学園大学	私 4.6	5(25)	三重大学	国 6.1	5(69)	桜花学園大学	私 4.2
4(21)	早稲田大学	私 4.6	6(85)	名古屋産業大学	私 6.0	6(69)	金城学院大学	私 4.1
7(84)	名古屋大学	国 4.1	7(85)	愛知大学	私 5.9	6(69)	聖隷クリスティー大学	私 4.1
8(18)	三重大学	国 4.0	8(12)	東京大学	国 5.5	6(48)	玉川大学	私 4.1
9(84)	愛知大学	私 3.8	9(8)	中京大学	私 4.9	6(69)	中京大学	私 4.1
9(10)	岡山女子大学	私 3.8	10(85)	静岡理工科大学	私 4.8	6(1)	南山大学	私 4.1
11(126)	名古屋産業大学	私 3.6	11(85)	静岡英和学院大学	私 4.5	6(69)	三重県立看護大学	公 4.1
12(19)	東京大学	国 3.3	11(25)	星城大学	私 4.5	12(10)	岐阜大学	国 3.3
13(33)	星城大学	私 3.2	11(85)	日本大学	私 4.5	12(16)	静岡大学	国 3.3
13(9)	常葉大学	私 3.2	14(10)	神戸大学	国 4.3	12(36)	名古屋芸術大学	私 3.3
13(1)	南山大学	私 3.2	14(21)	名古屋工業大学	国 4.3	15(69)	駒澤大学	私 3.2
13(33)	日本大学	私 3.2				15(69)	名古屋経済大学	私 3.2

▲「進学ブランド力調査2018」リクルート進学総研調べ

静岡理工科大学の「スゴい」を体感!

進路イベントの日程【3月～7月】

●大学見学会 3月22日(金)、5月19日(日)、6月16日(日) 開催時間13:00～16:00

研究室見学、入試説明会、保護者説明会、個別相談など

●Weekday大学見学会 7月15日(日) 開催時間13:00～16:00

授業見学、研究室見学、入試説明会、保護者説明会、個別相談など

*開催日が変更になる場合がございます。最新の情報は受験生サイトでご確認ください。

*詳細や参加申し込みは、本学受験生サイト (<http://www.sist.ac.jp/navi/>) からどうぞ!

*無料駐車場有、JR愛野駅南口より無料シャトルバス運行。

片岡由奈さん(物質生命科学科3年)が全国ビブリオバトル2018～大阪決戦～に出場しました

平成30年12月23日(日)、立命館大学大阪いばらきキャンパスにて「全国大学ビブリオバトル」が行われました。9回目となる今年は全国各地で延べ223回の地区予選・地区決戦が開催され、延べ1,598名が好きな本について語り、熱戦を繰り広げました。また大阪決戦では、全国の予選会・地区決戦を勝ち抜いた学生36名が集結し、準決勝・決勝と熱戦を繰り広げました。

本学からは、静岡ブロックの代表として片岡由奈さんが出場し、家族のエピソードなどを交えながら、生き生きと本を紹介しました。惜しくも準決勝敗退となりましたが、他のバトルとの交流や発表の様子に刺激を受け、来年も挑戦したいと語ってくれました。

【紹介した本】時雨沢恵一 著／黒星紅白 絵「お茶が運ばれてくるまでに: A Book At Cafe」

*ビブリオバトルとは…発表者がおすすめの本を持ち寄り、1人5分の持ち時間で書評した後、発表者と観客が一番読みたくなった本「チャンプ本」を決定する「書評合戦」。



▲ビブリオバトル予選に参加した本学学生 (左から3人目が片岡さん)



ホームカミングデーの開催報告!

平成30年10月28日(日)に本学学生食堂にてホームカミングデーを開催しました。

当日は、卒業生やご家族、教職員など約400名の方が参加され、旧友や恩師との再会を楽しみました。

同窓会長野支部・浜松地域支部の支部長も参加いただき、各支部の活動紹介から始まり、恒例となりましたメインイベントは「パパ・ママにあ〜ん!親子で協力、二人羽織」を開催し、大人から子供まで楽しく参加することができました。恒例の「大抽選会」とあわせ、おおいに盛り上がり、親交を深め合うホームカミングデーとなりました。

また、恒例の、参加者全員による学歌の斉唱を行い、久しぶりに大学生気分を満喫する機会になりました。



同窓会発足後、初の「支部交流会」を開催

平成30年12月1日(土)に長野県長野市にて同窓会長野支部総会の開催に伴い、初めての試みとして「長野支部×浜松地域支部」の支部交流会を開催しました。

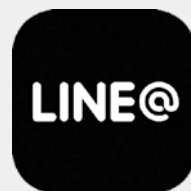
長野支部からは支部長・副支部長・会計・監事が出席され、浜松支部からは、支部長・会員が出席され、大いに盛り上がる支部交流会となりました。

今後の各支部のコラボ企画を期待しています。



同窓会各種SNSのお知らせ

ホームカミングデー等の開催告知、役員コラム、同窓会ニュース等の最新の情報を一早くお届けします! 盛りだくさんの内容となっていますので、是非登録してください!



保護者懇談会の開催

平成30年10月27日(土)に「保護者懇談会」を開催し、200名を超える保護者が参加されました。

全体会では小坂後援会長から御挨拶をいただき、後援会の活動状況について、今年度はキャンパス内環境整備として、学生食堂前のテラスの整備支援を実施予定との報告がありました。さらに、人材サポート有限会社の飯田純子氏をお招きして「保護者ができる子供への就活支援とは〜保護者も知りたい就職活動の実態と最新情報〜」と題したご講演をいただきました。多くの企業担当者と交流がある飯田氏に就職活動におけるポイントなどを説明していただき、来場された方々も熱心に耳を傾けていました。

午後からの「個別面談」には、約80名の保護者が参加され、大学や家庭での様子を助言教員と情報交換を行うなど、大変有意義な機会となりました。



サークル紹介 笑劇サークル 部長 瀬上慎之佑さん(情報デザイン学科3年)

大学広報誌の執筆依頼の話を頂けたこと、本当にありがとうございます。正直、飛び跳ねて喜んだ次第です。

『今を本気で楽しむこと』を志すメンバー。良い意味で馬鹿が出来るサークルです。些細なきっかけから生まれるどんな無茶難題でもやってしまう。多人数でやりたいことがある人はぜひ覗いてみるべき、こんなサークルは大学内では正直自分たちだけです。

私が断言しましょう(笑)。

メンバーで行くサークル終わりの食事やカラオケ等は日常茶飯事。他にも、袋井クラウンメロンマラソン、笑劇メンバーPV制作、旅行や大学合宿、その他諸々楽しい思い出ばかりです。

とはいえ、私達の主な活動は演劇です。地域の児童クラブに出向いての公演や東京で開かれるワークショップに参加するなど、演劇を中心に様々な活動を行なっています。また、他大学との合同稽古として、常葉大学の劇団「おらんじえ」さんとも一緒に活動をさせて頂きました。

演劇の脚本は、自分達で考えるため、それぞれが本気だからこそ言い合いにもなり、喧嘩もします。しかし、演劇で大団円を迎えた時には、仲間との絆も家族の様に固く結ばれます。笑劇サークルを立ち上げてからの2年は、本当にあっという間でした。先輩から後輩への引き継ぎも進行し、私の引退も間近になりつつあります。笑劇サークルに関わる後輩には、これからも静岡理科大学で本気で楽しみ続けてくれることを心から願うばかりです。笑劇よ永遠なれ。



スポットライト
がんばる理工科大生



杉浦 司さん(機械工学科2年)

僕はフリースタイルフットボールというものをやっています。サッカーのリフティングから派生した技などを音楽に合わせてパフォーマンスするものです。

競技人口は定かではありませんが大人から子供まで幅広い年齢層の方々が楽しんでます。もちろん大会もあります。僕は国内の大会には積極的に参加していますが、一昨年の10月にシンガポールで行われたアジア大会に招待され出場し、結果はベスト16でした。悔しくて約一年修行し直し、昨年9月にインドネシアで行われたアジア大会で準優勝することができました。二人組でパフォーマンスを競う、デュオールティン部門では優勝することができ、現在は日本、世界のトッププレイヤーになるために日々練習を積み重ねています。

フリースタイルフットボールは、やりたい技ができたときの達成感がとてつもなく大きいです。あの達成感を味わうためにも難しい技もどんどん挑戦していきます。当然、すぐにはできません。どうやったらできるのか研究しながら練習していきます。時間がかかるときもありますので粘り強さもついてきます。そういったところは勉学にも活かされてきます。粘り強く、どうやったら解けるか、解けるまで考えることができるようになりました。

その他にもフリースタイルフットボールから得るものは多く、勉学をはじめ人生で役に立つことが多いです。これからも勉学とフリースタイルフットボールを両立させて頑張っていきます。

編集後記

早いもので春の訪れを待ち望んでいる年度末になってしまいました。今回のキャンパスニュースでは、ANPICの災害情報システムを取り上げ、災害時における本学の情報の収集・管理などを紹介した内容となっています。今年度は、特に、台風などによる災害が多く、また、東日本大地震などの時期であったことから、皆様には、家族の安否情報など災害時の情報共有について、今一度、確認して頂きたいです。さらに特集記事にありますように、本年度は、学内のネットワークも整備され、学内の無線LAN環境が整いました。平成最後の年度末となりましたが、この情報化技術を効率良く、賢く、安全・安心に使い、新しい時代を切り開いて行きましょう!(S)

静岡理科大学キャンパスニュース

平成31年2月20日発行

企画・編集・発行 / 静岡理科大学 大学広報委員会

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2

TEL.0538-45-0111 FAX.0538-45-0110

http://www.sist.ac.jp E-mail:c-news@sist.ac.jp

